

令和7年7月28

同窓生の皆さま

函館ラ・サール学園図書館
司書 福尾 瞳

図書館お礼状・報告書の送付について

盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

先日行われました、「七夕キャンペーン」ならびに学園祭での「読書の森の散歩道（古本市）」では、書籍の寄贈をしていただき、同窓生の皆様には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

「七夕キャンペーン」の対象は、学内で生徒のみでの実施。「読書の森の散歩道」は、学内外問わずの開催でしたが、おかげ様で、どちらも盛会のうちに終了することができました。

これもひとえに同窓生の皆様のご支援あってのことと、改めて感謝いたしております。

なお、いただいた書籍は基本的にこの企画で使用させていただきましたが、一部書籍につきましては、生徒たちの強い希望もあって、本校図書館に配架させていただきました。

今回の両企画に関して、生徒たちとともに報告書を作成しましたので、図書館長のお礼状とともに同封いたします。当日の様子がわかる写真も添付しているほか、生徒の感想も記載しております。ぜひ、ご一読ください。

今後とも変わらぬご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

図書局活動報告

1 図書館利用促進『七夕キャンペーン』

○企画趣旨

- ・ 図書館の利用促進。
→ 来館者増というだけでなく、図書貸出冊数を増やす。
そして確実に返却するという習慣を身につけてもらう。
- ・ 函館の七夕文化の周知
→ 市外・道外からの進学者に函館の民俗的文化「ローソクもらい」について知ってもらう。

○企画概要

- ・ 実施期間：2025年6月26日（木）～7月7日（月）
- ・ 上記期間内に図書の貸出*・返却を行った生徒に対し、短冊を渡す。
- ・ 短冊には貸出と返却で2種類のスタンプを押す。スタンプが2種類集まった生徒には、短冊に願い事を書いて図書室内に設置した笹に飾ってもらう。
- ・ 飾った生徒には「七夕参加証明書」を渡す。
- ・ 飾った生徒には、7月7日（月）七夕当日「ローソクもらい」と称した本一冊とお菓子配布を行う。「七夕参加証明書」と引き換え。
- ・ 証明書は何冊借りて返そうが、1枚の発行に限る。

（*）貸出は7月5日（土）まで。

○実施の様子



△図書室内に設置した笹には連日たくさんの短冊が飾られた。



△7月7日の放課後、図書館前ホールにて「七夕まつり」開催。



△同窓生の方々から送付していただいた本に興味津々の生徒たち。

中学生が図書委員の高校生に本を選ぶ意見を聞くなど、学年を越えた交流も見えた。



△気になった1冊を受付で交換。

○参加した生徒の意見

- ・過去に図書館でこんなイベント？キャンペーンはなかったので面白かった。
- ・ロウソクもらって何か知らなかった。
- ・本がもらえて、嬉しかった。(多数)
- ・小説だけでなく、参考書もあって悩んだ。良いイベントだった。
- ・クラスメイト(高3)はイベントのことを知らなかった。ただ本がもらえると思ってきた人がいた。去年はこのような企画は無かったし、僕は参加してよかったと思うので、もっと広く知ってもらうために、クラスごとにチラシをまいても良いと思った。
- ・寮生活だと季節感のない生活のため、高校生活最後に七夕というイベントに参加できてよかった。
- ・函館の七夕って面白いなと思った。ここは図書館だから、本を配るというのが良かった。

○図書局・図書委員の生徒の振り返り

- ・多くの生徒が読書について興味を持つことができたと感じた。
- ・貸出が増えた。
- ・図書館を生徒が利用する頻度をふやすのに実際に役立ったと思う。
- ・体感図書室で本を借りたい人がいつもよりも多かった
- ・多くの人が図書館を利用するきっかけになった
- ・図書に普段来ない方々も多く来ていたのが面白かった。
- ・いつもは本を読まない生徒への良い本を読む機会となった。
- ・概ね良かった。中学生の参加者は多かったが、高校生が少なかった。貸出冊数を見てもわかる通り、高校生の利用者自体少ない。高校生の参加者を増やしたい。
- ・事前告知がしっかりしていたのは良かった。来年もこのまま実施で良いと思う。
- ・もうちょっと大々的にPRしてもよかった気がする。高校生が比較的来なかったことを踏まえ、高校生向けにPRすべきだった。
- ・いただいた本をきちんと分類すればよかった。学園祭では見やすい工夫を考えたい。

○図書局・図書委員による七夕キャンペーンの振り返り報告文

- ・1年B組 本田 一晟

6月中旬に七夕キャンペーンの説明を受けました。今まで図書館でそのような活動はなかったので、正直意外だなという驚きと面白そうだなという感想を抱きました。

キャンペーンを始める前に笹に飾る短冊や笹飾りなどを作成しました。短冊は、色紙を切り、穴をあけ、紐を一つずつ通すという手作業です。短冊は最終的に125枚ほどつくりました。

次に550冊以上ある古本を整理して見やすいようにしました。その中の150冊ほどは同窓生の方々からいただいた本です。文庫から新書、参考書など色々な種類の本を頂戴しました。(そのほか教職員の方々からも頂戴しました。)ご協力くださった方々、ありがとうございました。

では実際に6月26日からキャンペーンが開催され、カウンターで本の貸出をしながら感じたことを順に説明します。

まず、中学生が積極的にキャンペーンに参加してくれました。対照的に高校生の利用が少ないことに気づきました。しかし、全体的に貸出の人数が前年度と比較して増えたので、実施した甲斐があったと感じました。

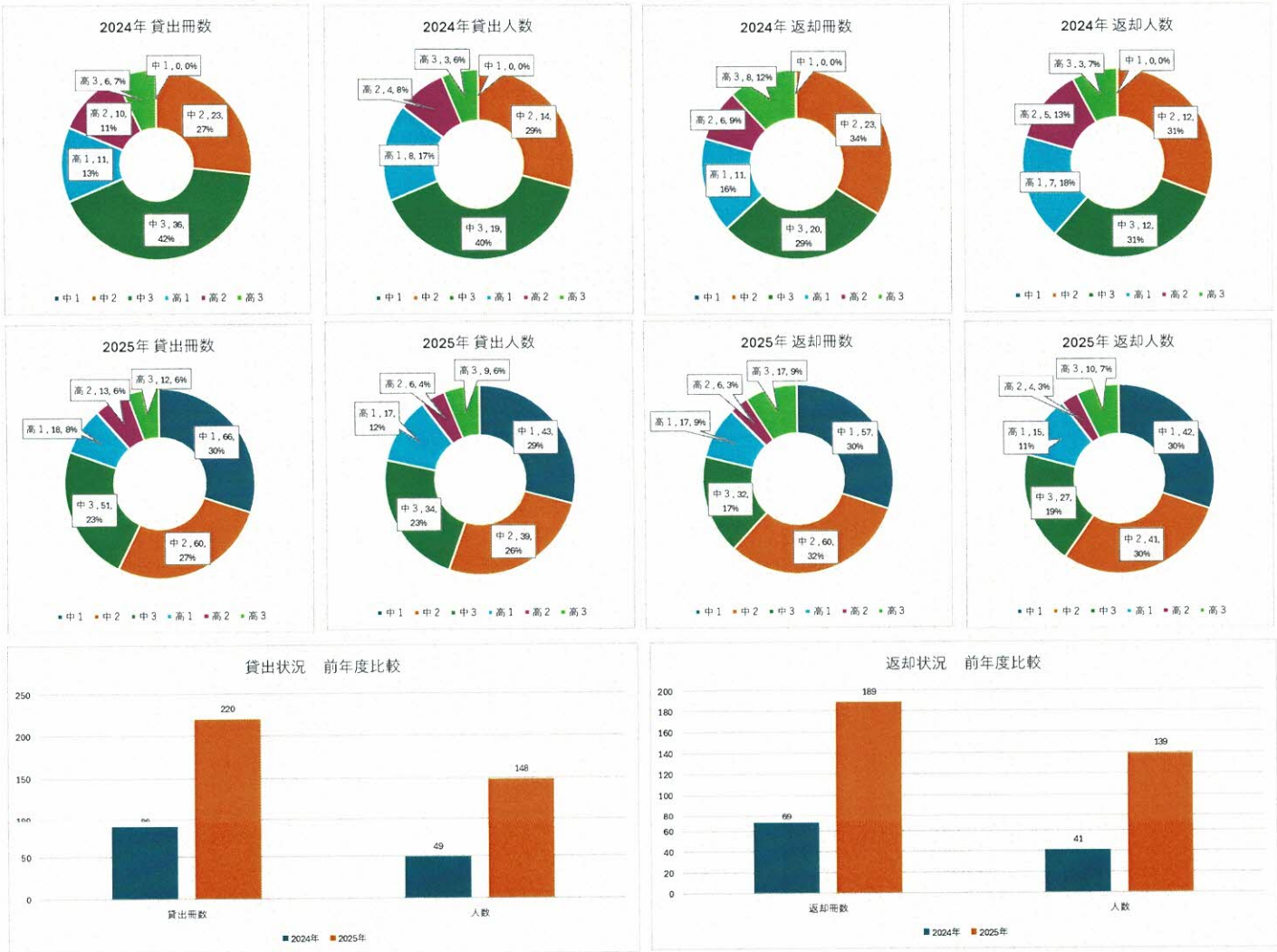
さらに良かったことは、キャンペーンを開催してから、貸出の期限超の本がたびたび返却されたことです。このキャンペーンを実施したことで、本の返却忘れに気が付いた生徒がいたのです。

7月7日の七夕当日は、放課後にキャンペーン最後の目玉：本のプレゼントを行うということを行いました。昼休みに図書委員全員が集合して図書館前ホールに机や笹を運ぶなどの下準備をしたのち、放課後に550冊の本の大移動をしました。中学生が6時間授業ということもあり、僕たちの7時間目の授業が終わるのを待ちきれず図書館前ホールには生徒が溢れていました。いざ、準備が整うと並べた本を皆真剣に選び、気に入った1冊を手にとって、喜んで帰っていきました。

このような生徒たちの姿を見て、次年度も図書局として、紙の本を手に取り、興味を持ってもらえるような企画を実施したいと思いました。その際は、今回の経験を活かしてもっと効率よく準備・運営ができるよう心掛けたいです。

○利用状況比較

・前年同時期：2024年6月27日(木)～7月8日(月)



2. 学園祭「読書の森の散歩道」

○概要

- ・実施日：2025年7月19日（土）、20日（日）
- ・内 容：古本市
 - （※）校則により、生徒による販売は禁止のため、あくまでも来場者には希望する本を差し上げる企画。
 - （※）コロナ前まで実施していた。

○用意した本の冊数 616冊

- ・同窓生への声掛けにより、最終的に約200冊の本を提供していただいた。
- ・教職員からの提供もあり、七夕キャンペーンの時から本が増えた。
- ・本の内訳は以下のとおり。

	総記／産業	哲学	歴史／芸術	社会科学	自然科学	医学	言語	文学	文庫本	新書	計
用意した本の数	11	34	23	16	24	16	67	131	255	39	616
贈呈数	9	9	13	5	7	9	9	49	30	11	151

※「総記／産業」「歴史／芸術」は、それぞれ分類が異なるがスペースの都合上一箱にまとめたため、同じ括りになっている。

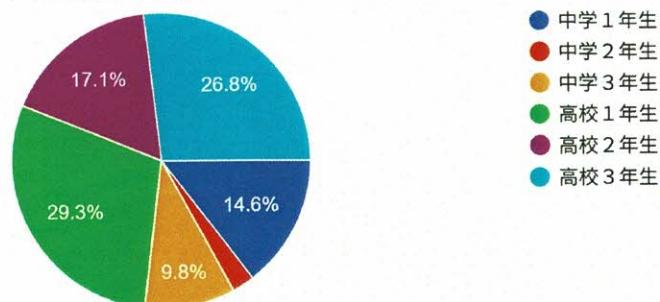
○来場者数

来場者数	7月19日	7月20日
9:00-10:00	0	22
10:00-11:00	0	62
11:00-12:00	0	25
12:00-13:00	8	31
13:00-14:00	47	28
14:00-15:00	39	19
15:00-16:00	25	0
計	119	187

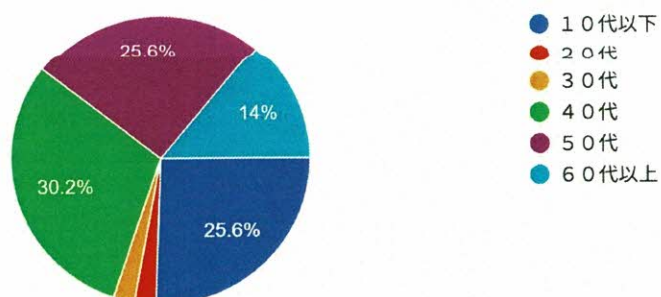
延べ人数 306 人

○来場者でアンケート回答者の本校生徒学年割合、本校生徒以外の年齢割合（回答者 81 名）

・本校生徒学年割合



・本校生徒以外の年齢割合



○来場した生徒の意見（アンケートより抜粋）

- ・ラノベしか普段読みませんが、あまり読まない本を読むいいきっかけにしたいと思います。ありがとうございました。
- ・これからもやってね
- ・とても良かったです。
- ・非常にありがたいです。
- ・参考書類はありがたい。TOEIC、英検など
- ・最近読んでいなかったの、これを期にまた読もうと思います。

○来場した生徒以外の意見（アンケートより抜粋）

- ・とても素敵な活動をされている事を知れてよかったです。本も寄付します（40代）
- ・並べられている本の背表紙を見るだけでワクワクしました（10代）
- ・文化祭でいろいろなところをまわりましたが、「読書の森の散歩道」はホッと一息つけるコーナーでした。（50代）
- ・思わぬ本に出合えてよかったです（40代）
- ・落ち着いた空間で癒されました。ありがとうございます。（50代）
- ・がんばってください！！（50代）
- ・ありがとうございます。たいせつによみます。（10才）

○図書局・図書委員による振り返り

1年A組 梅田 順三

<実施内容について>

古本市の準備にあたっては、OBの皆様からご寄贈いただいた書籍などをジャンルごとに分類し、展示や配布がしやすいよう丁寧に整理しました。なかなかハードな作業でしたが、みんなで協力してなんとか乗り越えました。また、今回がコロナ禍以降初めての開催ということもあり、教室の装飾にも力を入れました。写真（実施の様子）にもあるように、看板や飾りを制作し、会場には観葉植物も配置することで、他のクラス企画に劣らぬ内装に仕上がったのではないかと思います（観葉植物は図書館で育てている、僕たちのマスコットのような癒しの存在です）。

また、今年度の図書局のこれまでの活動記録を黒板に掲示することで、来場者の皆様に図書局の活動や存在について知っていただく良い機会となりました。

本の配布については、来場者の皆様に簡単なアンケートにご協力いただいたうえで、好きな本を自由にお選びいただける形式とし、それぞれの興味に応じてゆっくり手に取っていただけるよう工夫しました。さらに、開催期間中は図書局顧問が選定した映画を会場内で上映し、落ち着いた雰囲気の中で本と向き合える空間づくりにも努めました。

<OBの皆さまへ>

改めまして、このたびは学園祭での古本市にたくさんのお本をご寄贈いただき、ありがとうございました。

OBの皆様からは七夕キャンペーン時から合わせて約200冊の書籍をご寄贈いただきました。ジャンルは新書、文学、医学、歴史、総記など多岐にわたり、幅広い年代の来場者の皆様に楽しんでいただけたと実感しております。総合的に人気が高かったのは、総記、産業（ビジネス関係）、歴史、医学、文学などの分野で、それぞれの興味に合った本を多くの来場者が手に取ってくださいました。受付作業をしている中で本校生徒に人気だと感じたのは語学系、英検などの参考書です。

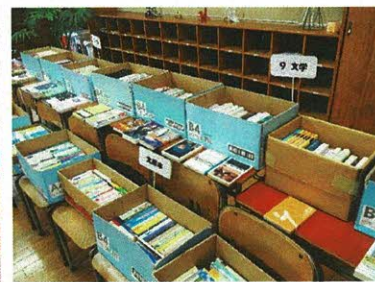
学園祭両日は、本校の生徒をはじめ、老若男女問わず幅広い年代の方々、計306人もの方にお越しいただき、151冊の本をお渡しすることができました。来場者の方々からは、前述したアンケート回答抜粋にもありますが「ホッと一息つけるコーナーでした。」「普段あまり読まない本を読むいいきっかけにしたいと思います。」「たいせつに読みます。」などの温かいコメントを多数いただきました。これらの声を通じて、私自身、改めて本の持つ力を実感しました。

来年もさらに多くの方に喜んでいただける古本市を目指し、より充実したイベントにしていきたいと思います。デジタル時代とはいえ、本の温かさや魅力は変わらないと信じています。今後ともOBの皆様のご支援をいただきながら、より多くの方に読書の楽しさを届けていきたいと思っています。

○実施の様子



△教室前の看板なども皆で作成しました。活動記録のほか、七夕キャンペーンで使用した笹飾りも再度飾り、保護者の方に人気でした。



△多くのお客様が絶えず来場してくれました。お陰様でたくさんのお本を用意することができましたが、机に乗りきらず、椅子をうまく使って展示しました。